

東京都立第四商業高等学校 令和5年度校内研修

独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下「JSC」）では、事故防止に対する取組に活用できる教材や資料を災害共済給付Webで提供しています。

今回は、東京都立第四商業高等学校（以下「第四商業高校」）で実施された校内研修及び講習会において、JSC作成の資料を活用いただきましたので、御紹介します。

※活用資料：スポーツ事故防止ハンドブック、スポーツ事故対応ハンドブック、映像資料（DVD）「水泳・歯と口の事故防止」、パンフレット「なくそう！運動部活動の事故」

【学校紹介】

第四商業高校は昭和15年開校、83年という長い歴史と伝統のもと、地域に根ざした商業高校として成長してきました。進学はもちろん、商業高校ならではの就職に強い四商として地域から厚い信頼を得ています。（第四商業高校ホームページより）

また、今年度は公益社団法人日本学校歯科医会「令和5・6年度生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」において、東京都の代表校に選ばれています。その取組の一環として、5月24日に教職員を対象とした「歯・口の外傷ケアについての研修」が行われ、7月20日に運動部の生徒代表者を対象とした「歯・口のスポーツ事故防止について考える安全講習会」が実施されました。



5月24日 研修の様子

【事故防止資料を活用したきっかけについて主任養護教諭の中野先生（以下「中野先生」）にお話を伺いました】

6年前、前々任校（大山高校）に勤務していた際に送られてきた資料をきっかけに、JSCの災害事故防止資料を知りました。以降、職員研修や合宿の際に配布資料として活用しています。

【歯・口のスポーツ事故防止について考える安全講習会の様子取材しました】

7月20日の終業式の後、夏季休業中の活動が活発に行われる運動部の生徒代表者を対象に、講習会が実施されました。

映像資料（DVD）「水泳・歯と口の事故防止」を視聴した後、学校歯科医の、かねとう歯科・金藤哲也院長から、歯の構造や歯の外傷が発生した際のケース別対応について、「スポーツ事故対応ハンドブック」を基に説明が行われました。

参加した生徒からは、「これから夏休みで部活動の時間が増える。野球部は接触プレーも多いので、防げる事故やけがに気を付けて活動をしたい」「歯が抜け落ちたときに根元を持ってしまいそうなので、正しい持ち方を知ることができてよかった」「以前、口元にグローブをぶつけて出血をした部員がいて、事故は頻繁に起こる可能性があると思っている。甲子園でマウスピースを着用しているピッチャーもいるので、自分も着用してみたいと思った」などの感想が寄せられました。

また、保健厚生部の教員からは、「資料がたくさんあり、分かりやすかったです。もしものときの備

えができると思いました」との感想がありました。



7月20日 映像資料（DVD）「水泳・
歯と口の事故防止」を視聴している様子



7月20日 「スポーツ事故対応ハンド
ブック」を基に説明が行われている様子

【資料を活用してみた感想について中野先生にお聞きしました】

一般の教員や生徒でも緊急時に落ち着いて症状を確認し、対応できることを目指して研修を行っています。「スポーツ事故対応ハンドブック」だと症状別に要点を簡潔に説明できるため、主催者としても職員研修でうまく活用できていると思います。また、JSCの科学的な根拠の裏付けがあるという面でも、安心して資料を提示できています。

歯・口の安全講習会は抜けた歯を探したり、歯根部を直接持たないということを映像で視覚的に見せることや、歯科医師から医学的に説明してもらうことで、運動部全体に内容が普及していくことを目標としています。歯の事故対応の映像が簡潔で分かりやすく構成されているので、運動部活動における事故防止の講習会として生徒に見せる上でとても効果的に活用できました。

【事故防止資料についての意見・要望等について中野先生にお聞きしました】

担架での搬送の注意点や担架の使用方法などの資料を作成していただくと大変助かります。

理由としては、前任校で行われたムカデ競争で大腿骨骨折をした生徒がおり、担架で搬送したこと自体が危険だったという経験がありました。担架に乗せてよいのか判断が難しい場合は、その場で救急搬送を待つことも必要だということが視覚的に伝わる資料がほしいと思いました。また、担架の組立て方（裏面の金具を固定する）について、基本的な使用方法を教職員に説明できる資料があると助かります。

【学校歯科医 かねとう歯科・金藤哲也院長にお話を伺いました】

私が歯科医師を目指すきっかけとなったのは、小学生の頃に自転車で転び、歯の治療を受けたことでした。動画でも紹介されていたマウスピースについて、自分の学生時代に活用する機会はありませんでしたが、最近では、マウスピースの着用により噛み合わせ等がよくなり、パフォーマンスが向上するというエビデンスもあります。学校歯科医を務めるようになり、その手ごたえについてはこれからだと思いますが、様々なデータを活用していきたいと思っています。

【取材を終えて】

第四商業高校では、日頃から教職員・生徒全員の安全意識の向上に力を入れており、「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進学校」として、歯・口の外傷に対する指導にも力を入れています。事故防止はもちろんのこと、緊急時の対応について正しい知識を身に付けることで、安心して部活動に取り組んでいただければ幸いです。

JSCで提供している事故防止資料の中には、今回紹介した映像資料（DVD）だけでなく、統計情報や印刷するだけで使用できる教材カードなど、すぐに使える資料がたくさんあります。短時間の教職員研修や職員会議でも御利用いただける資料となっておりますので、是非御活用ください。最後に、お忙しい中取材に御協力いただきました第四商業高校の皆様、ありがとうございました。

【お願い】

JSCが提供している事故防止資料を活用している先生方がおられましたら、災害共済給付Webなどで共有したいと考えておりますので、担当地域事務所に御一報ください。お待ちしております。



<参考資料>

- ・ [東京都立第四商業高等学校ウェブサイト](#)
- ・ [災害共済給付Web](#)
- ・ [災害共済給付Web「スポーツ庁委託事業 学校でのスポーツ事故を防ぐために」](#)
- ・ [映像資料（DVD）「水泳・歯と口の事故防止」](#)
- ・ [パンフレット「なくそう! 運動部活動の事故」](#)
- ・ [スポーツ事故防止ハンドブック（解説編）](#)
- ・ [スポーツ事故対応ハンドブック（フローチャート編）](#)
- ・ [歯・口の外傷フローチャートポスター](#)
- ・ [教材カード（歯・口のけがを防止しよう! / 歯・口の外傷への対応（中学校・高等学校等向け））](#)
- ・ [教材カード（歯は失ったら取り戻せない大切なもの / 歯・口の外傷への対応（教職員向け））](#)